

秘

日本大学医学部付属練馬光が丘病院後継運営主体選定委員会 議事録 (要点記録)

日 時：平成23年9月12日 (月) 午後6時半～9時半

場 所：庁議室

出席者：旗野委員、井藤委員、上野委員、秋田委員、鈴木委員、吉田委員、琴尾委員、室地委員
新山課長、長尾係長、妻木主任




【委員】


これより選定委員会を始める。事務局よりどうぞ。

【地域医療課長】

産経新聞の記事を配布させて頂いた。9月7日の記事は、「練馬区は6日、来春から運営を引き継ぐ法人の選定委員会を開き、応募した2法人から事業収支計画書などを聴取した。焦点は日大が提供してきた医療水準を来週春以降も維持出来るかだが、委員会内部からも「軌道に乗るには3年間はかかる」(病院経営に詳しい選定委員)との指摘があるなど、評価の困難さが予想される」といった、内部からの発言があたかも書かれている。法人も「聴取されたのは、山間部、僻地や都内で計約50施設を運営している公益社団法人と、複数の自治体にまたがる大病院経営で知られる医療法人」と、限定されている。さらに、9月9日の記事では、「後継は地域医療振興協。選定委が高評価。」ここでは、大和会という実名もはっきり出ている。「結果は既に関係者らには通知されており」と書かれていて、このことは議会でも問題になっている。区民からの選定委員会に対する疑問視もあがっている。場所などは秘密にしているが、直接選定委員へマスコミが接してくるかもしれないが、その際には発言に注意してほしい。

【琴尾委員】

非公開で進めてきていることが、選定委員会の内容が外に漏れている。「結果は既に関係者らには通知されており」は全く事実無根で、区はまだ決定もしていない。先日、地域医療課から失礼ながら、委員の方へ確認をさせていただいた。



なぜ漏れたのかははっきり分からなかった。我々も委員なので、結果等が出てくるまでは情報は外へ出さないようにしていく。引き続き委員の方々には宜しく願いたい。

【委員】

前回の会場の場所は声が漏れるような場所だった。釈然としないのは、あたかも委員が情報を漏らしたような言い方だった。我々の組織でも7日、9日の新聞を見て協議した。少なくとも9日の情報は選定委員ではわからないような内容も含まれている。12日の答申、16日の公表など。

【琴尾委員】

スケジュールについては議会には公表している。

【委員】

このこと
に時間を掛けることはない。どこまで掘り下げるのか。役所から疑われたことだけで不愉快だった。委員のことをどこまで信頼してお願いしたのか。先に進めた方がいい。

【委員】

それでは議事を進める

【地域医療課長】

地域医療協会が指定管理者として運営していた共立湊病院について、国へ意見書が提出されているため、説明する。～以下、意見書を元に説明～

【委員】

ご発言を。

【琴尾委員】

ニュースソースは、先週、日大練馬光が丘病院の存続を求める区民の会が都庁で記者会見をした際にこの書類が出された。それで、私たちはこのことを知った。

【地域医療課長】

産経新聞にも載っている。公になっていることなので、この場で検証する必要があると考えた。

【委員】

こういったことも踏まえて今後ご意見をもらいたい。次に議事を進める。経営診断について、事務局から説明を。

【地域医療課長】

～経営診断結果の説明～

【委員】

評価および選定に入りたいと思う。ご意見は。

【琴尾委員】

この経営診断は、どの評価に関係するのか。

【地域医療課長】

前回、採点をしてもらったが、法人の財務状況や収支計画などの分析資料がまだ出ていなかった。今回は、それらを含めて総合的に評価をしてもらえればと思う。選定委員会全体として、評価を出してほしい。

【委員】

報告を受け、我々の考えていることと同じ結果だろう。大和会は、理事長のリーダーシップで職員がいきいきと働いていて、人を上手く使っている。そこが一般の病院とは違っている。点数的には、安心感があることから、地域医療振興協会が高くても間違いはないだろう。

【委員】

収支見込みというのは、ある一定の見込みがあって成り立っている。平均単価から比べると診療単価の高い科が活躍する。そういう科が活動出来れば、黒字になる。それを実現するには、医師の確保が出来るかどうかだ。最終的には前回の評価で、地域医療振興協会について、人の確保に対して高い評価を与えているということであれば、この収支の数を実現出来るのは、地域医療振興

協会がより高いということ。大和会については、日大練馬光が丘病院の外科系を中心に残ってくれば、この数が実現する。気になるのは、東大和会の設備投資についてかなり低く見積もっている、基本的には今ある設備をそのまま使うというスタイル。地域医療振興協会は、高額な設備投資をする前提で書かれている。今ある設備をどのように譲渡するのかといったことも含めて考えていかなければならない。実現性ということであれば、大和会はあまりに仮定が多すぎるので、不利ではある。遠い将来にどちらが良いのかということになると、分からないが。

【**委員**】

職員の数が違うが違うのに、給与比率が変わらないというのは、普通であれば考えられない。どこかが抑えられているのでは。そういった分析があまりないようだが。大和会は年俸だった気がする。地域医療振興協会は月給だった気がする。医者のを抑えられているのだから。

【**委員**】

大和会は、収益に対する比率で考えている。本来はもっと上がるはず。もしくは、事務等をよほど安く雇っているかどうか。医師は多分高額で雇っているだろう。この辺に無理があるだろう。病院システムの資料でも、「優秀な医師が確保出来れば」と書かれている。医師の確保については、日大まかせである。そこを見ると実現可能性が危なく感じる。地域医療振興協会に比べると、確実性が弱いと感じる。稼働率も高めで88%。ここまではなかなか上がらないだろう。

【**委員**】

給与費は一人単価の額が違うには違う。大和会については、収入が多いため、比率にすると同じ位の額になるが、計算方法の違いがある。積み上げではなく、全体の比率で計算している。確かに、ここの検証は出来ていないが、プレゼンの時に聞いたが、答えなかった。だから、検証のしようがない。

【**琴尾委員**】

資料を見ると、先生がおっしゃった通りの算出方法で出しているようだ。

【**地域医療課長**】

それぞれの評価項目について、選定委員会として評価を進めて頂きたい。

【**委員**】

両法人とも体制を作れたとして、やっつけている数で作っている。だから、出されている数がおかしくはない。大和会の医療と地域医療振興協会の医療は異なるからだ。大事なはその体制が作れるかどうか。会としては、地域医療振興協会の方が、懐が広くて、体制が構築出来るのではないかと、いうのがあるとは思いますが、共立湊病院のことや、指定管理者を受けているところが計画通り出来ているかというところでもない。これは地域医療振興協会に限ったことではないが、4月以降にこの計画どおりきちんと出来るかどうかは、自分自身自信はない。今更だが、もう1度日大と話が出来るのか。ステップを踏まなくて良いのかという気がしてならない。そこの余地は全くないのか。

【**委員**】

私も、日大が一番良いと思う。地域医療振興協会は全国規模であるが、上手くいっているところもあれば上手くいっていないところもある。だから、駄目だということもないが、やはり日大の方がはるかに一番安心感がある。無理に決めろと言えば、地域医療振興協会になるだろうが、日大練馬光が丘病院の満足感は得れないだろう。推薦するのは良いが、決定したらもう動きはとれない。1

か月位延ばして検討して欲しい。

【委員】

の意をくみ取るとすると、委員会としては決定を1か月位ペンディングするという事。その間に委員会としては、もう1度日大と交渉した方が良いというのが委員会の第一の意見であった。その交渉が決裂すれば、選考を再開するというのが今日の結論。と、いうことが出来るかどうか。区の方も交渉の糸口が全くないということであれば、無理強いを委員会としてはやっても意味はないだろうし。

【委員】

日大の内々の事情からこのような展開になったのだろうと思う。からせっきゃくこういう話が出たんだから、区長に理事長に会うような機会をつくってもらえることが良いのでは。話はいつも学部長止まりの話。結果がどうであれ、区民の方々は納得するだろう。もう結果の法人は決まっているのだから。行政として時間をとって、区長部局でよく相談してほしい。委員会はそれを待たせてもらおう。どうしても、今日決めなくてもそういう形をとった方が将来のために良いと思う。

【委員】

病院がなくなるという前提の話で、委員を受けている。基本的には、日大には残って欲しいという意志。やはり長対長の話が足りないかなと思っている。委員会とすれば、日大に出来れば残って欲しいという文言を入れて、この法人だというように答申をすれば良いのでは。

【委員】

最初、委員を引きうけたのは、もう日大はなくなると、交渉の余地がないという区長の話があって、その前提で引き受けている。交渉の余地があれば、それが一番良いのでは。4月1日に医師を120名集めて医療水準を落とさずに、というのはなかなか難しい。なので、交渉の余地があればした方が良い。ただ、期間がないので、駄目になってしまったら、時間がない。なので、区長には駄目だった場合は、ここが良いのではないかと、という形で答申するのが良いのでは。

【委員】

委員会は、選定するという任務のもとで開催されている。しかし、もう一度日大へ交渉して欲しいというのがベターな方法だということで、委員会では区長にはもう1度交渉をお願いしたいということで答申をしたい。

【委員】

3つの方法を考えなければならないと思う。委員会の任務からすると、与えられた条件の中で、法人を選び、答申をするのが1つ。もう1つは、付帯事項として、日大と交渉して、それが決裂すればここにするという方法。3つめは、日大と交渉するまでは、委員会として結論を出さないということ。この委員会ですべてを決めるか。

【琴尾委員】

ずっと日大に対しては交渉を重ねてきている。赤字を出さない方法を提示している。それでも、日大は乗ってこなかった。区長から会談を持ちかけても日大は応じなかった状況だった。その結果がこれだ。が、いま皆さんからご意見を伺った。委員会総意なので、区長に伝え、もう1度日大の真意を確認する作業を行っていききたい。もう1つ、地域医療振興協会が他の自治体でやってきたことについて、どういう事実があるのか確認する必要がある。選定委員会として、地域医療振興協会の

責任者を呼んで聴取してもらいたい。あと、スタッフの確認についても、日大が残らなかったらどういうスタッフを集められるのか、その確実性。残るなら、どういう形にするのか、地域医療振興協会に確認する必要がある。本日は、委員会として持ち越しということにさせて頂きたい。近日中に、地域医療振興協会を呼んで、選定委員会で先ほどの2つの確認事項を行いたい。

【**委員**】

問い合わせをする場合、極めて強い形で行うのか、あくまで、情報提供レベルで行うのか。どちらの立場でやるのかは、日大の反応が分からないと難しい。地域医療振興協会の立場からすると、そんなに突かれるなら、降りますということだって考えられる。なので、日大の対応は早急にしなければならないだろう。全部失ってしまうという可能性も高い。

【**地域医療課長**】

この間、急いできたのは、日大からは9月10日を目安にということを進めてきた。さきほど、1ヶ月位伸ばすような意見が出たが、そうすると、日大からは話が違うと言うだろう。事務局としては皆さんの意見を尊重するが、時間はそんなに掛けられないと感じている。早急に、明日以降、動いていきたい。

【**委員**】

思うに、数回アプローチしてノーなら、ノーだろう。と、いうことは、地域医療振興協会にはそんなにうるさいことは聞かないことだ。ここ1、2回アプローチしてその感触が分かれば、決定出来るだろう。

【**琴尾委員**】

区長の判断を仰がねばならない。私自身が日大に電話する。そこで、しかるべき確認等をする。理事長が出てくれば、区長。そうでなければ、私。明日、明後日で接触するようにする。問題は、金曜日に議会で決議をしていること。決議の内容は、後継法人を探して医療水準を落とさないことや日大と円滑に引き継ぎを行うことなど。なので、議会の決議と逆行するようなことは議会との関係も難しいところもある。

【**委員**】

議会の意向をくんで副区長が区を代表して足を運んでももらいたい。時間がないがやって欲しい。委員会はそれまで結論を出さないことが可能なら、そうして欲しい。

【**委員**】

委員会として、審議したけれど、日大の医療水準を落とさないということが、委員会で確信が持てないと。そのため、少し時間が欲しいという形にならないか。

【**室地委員**】

事務局へ確認したいのだが、ぎりぎりどれくらいのスケジュールで大丈夫なのか。また、議会にも相談する必要がある。議会が駄目だというのであれば、皆さんの意見を汲めないこともありえる。既に、9月16日に報告するとしているから、10月ということにはならないと思う。

【**委員**】

医療水準を保てということであればなかなか難しい。それなら、日大と交渉しなければならないだろう。委員会とすれば、とにかく後継法人を決めるというスタンスに立てばいいのか、何しろ質を保てというのか。質を保てというならば、今の日大の医師をより凌駕するようなことは事実上極め

て難しいだろう。しかも、他の地域に迷惑を掛けずに100人の医師を集めるのは容易ではない。それらを含めて、議会では替わることを前提で交渉しろと言っていくのかを確認して欲しい。

【琴尾委員】

今日は、結論を出せないということ。もう1度、今週中に選定委員会を開くということは可能か。

【委員】

委員会として、日大が駄目なら地域医療振興協会になるのだろう。だから、選定委員会をもう1度開く必要はないと思う。委員会では日大交渉が駄目なら、地域医療振興協会にするという結論を出しておいて、あとは委員長と副区長で話をすれば、良いと思う。

【委員】

それでいいと思う。

【琴尾委員】

ただ、気になるのは、先ほど話をした地域医療振興協会への確認事項だ。

【委員】

記事についての真意を確かめるということは、行政にお任せしたい。そこまでやるのはまずいのでは。

【委員】

ここまでこじれるのは両者とも悪いのだろう。そう意味では、地域医療振興協会の言い分を書いてもらって、もっと言えば共立湊にも確認する必要があるだろうが、そこまでする必要がないのだから、地域振興協会に釈明書をもらえば良いだろう。

【委員】

答申をどう生かすかは区や議会の判断。その段階で、その点を調べたということでもおかしくないだろう。我々は時間等の制約の中でここを選んだ。

【琴尾委員】

区長に判断は仰ぐが、日大へ接触し考えを確認する。その上で、日大が同じ態度であれば、選定委員会では地域医療振興協会を評価して選定したということを踏まえて、区が最終判断を行う。そのときに、先ほどの事項を確認していく。日大との接触の結果は、個別に電話連絡でお伝えさせて頂く。

【委員】

お任せしたい。

【地域医療課長】

意見具申書の中身を確認してほしい。

【委員】

「協議の結果、地域医療振興協会決定した」という記述だけで良いのではないか。もう1つの法人に対して劣っているということをいうのは失礼かと思う。

【琴尾委員】

そういう言い方はしない。選定が終わって、決定したあと、選定した理由を公表しなければならない。それぞれの項目について何点だったかなど。

【採点】

委員で多い点を委員会の点数に。同数の場合は、良い点にする。

地域医療振興協会は80点、大和会は60点。

【琴尾委員】

委員会としては留保条件付きだが、選ぶのは評価の高かった地域医療振興協会。

【地域医療課長】

答申案を2つ作成している。今から、評価の高かった地域医療振興協会案の方をお配りする。

「日大と交渉し、会談に応じないという場合に、地域医療振興協会に決定する」という言葉を付言する。

【 委員】

今日の段階では付言だ。日大交渉のあとは、この付言は取れる。

【琴尾委員】

今日の結論としては、評価をし、日大との交渉結果を待ってこれを出すと。日付は13日じゃないかもしれないが。

【 委員】

選定の経過をしては、付言の内容は入れておく必要があるのは。

【琴尾委員】

12日の検討事項のところに加えることとする。

【 委員】

推薦理由で、看護学校設立は直接の推薦理由にはならない。「尚」書きが良いのでは。あとは、職員配置も大和会も同様に提案されていたと思うが。

【 委員】

地域医療振興協会の方が多かった。

【地域医療課長】

積明書について、意見具申書の中に記載する必要はあるか。

【琴尾委員】

積明書の要請は区がすれば良い。記載する必要はない。

【 委員】

地域医療振興協会になったら医療の質が確実に下がるなどとは書けない。引継ぎに際して混乱を避けること、のようなことを書いておいた方がいい。

【室地委員】

今段階では付言がついているということか。

【琴尾委員】

今日のところは、委員会の結論は別として、確認すべきことを終えた段階で、区長が決定することとする。

【地域医療課長】

マスコミには、選定の結果については今段階では確認すべきことがあるのでお答え出来ないとする。

【 委員】

情報公開との絡みは。

【琴尾委員】

今日の選定委員会の結果は言わない。区が決定したあとに公表する話。今回は、留保条件がついているので、今日は決まっていないということ。とにかく、早急に動きたい。

【地域医療課長】

事務局としても、本日のことはノーコメントにしていく。

【■■■委員】

熱心なご答弁を頂き、ありがとうございました。